

# 保護者の皆さまへ 寝屋川支援校長室だより

令和4年2月8日 No.15  
大阪府立寝屋川支援学校  
校長 福井 浩平  
准校長 阪本 友輝

3学期は特に時の流れを速く感じます。すでに2月も2週目に入りました。

大阪での新規感染者数も連日1万人を超えており、蔓延防止等重点措置の適応期間の終了が迫ってくる中、今後どのような対応が必要になってくるのか、注視していく必要があります。

オミクロン株の蔓延とともに臨時休業に関する対応が次々と変わる中、保護者の皆様にも学校への迅速なご連絡等にご協力いただいております。誠にありがとうございます。

大阪府立学校・支援学校の対応の詳細については、大阪府のHPに示されておりますのでご一読ください。

[https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/6793/00354683/02\\_01\\_R40126\\_hotai.pdf](https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/6793/00354683/02_01_R40126_hotai.pdf)

大阪府でも3回目の追加接種が始まっており、その効果が期待されるところですが、「陽性となった」という連絡も続いており、濃厚接触のため自宅待機となる機会が増えることも考えられます。

今号は、濃厚接触者となった際の自宅待機期間の考え方について、お知らせします。

## ● 同居家族（自宅療養の陽性者）の濃厚接触者となった場合の自宅待機期間について。

すでに報道等でご存じの皆さんもいらっしゃるかと思いますが、オミクロン株の特性を踏まえ、陽性者及び濃厚接触者の自宅待機期間に変更が生じていることについて、教育庁より考え方について連絡がありましたのでお示しします。（令和4年2月2日付け厚生労働省事務連絡）

Q 同居家族（自宅療養の陽性者）の濃厚接触者となった場合の自宅待機期間は、いつまでになるのか。

A 濃厚接触者である同居家族等の待機期間について、当該陽性者の発症日（当該検査陽性者が無症状の場合は検体採取日）または、当該陽性者の発症等により住居内で感染対策を講じた日のいずれか遅い方を0日目として、7日間と示されております

Q 「当該陽性者の発症等により住居内で感染対策を講じた日」とあるが、感染対策の内容を具体的に示してもらいたい。

A 日常生活を送る上で可能な範囲での、マスク着用、手洗い・手指消毒の実施、物資等の共用を避ける、消毒等の実施などの対策を想定しており、保健所の指示に基づく対策の実施や、濃厚接触者とならないよう厳格に隔離等を行うことまでを求めるものではありません。

※ 「最終的な判断が難しい場合には、ご家庭から管轄の保健所や新型コロナ受診相談センター等へご相談ください。」とのことです。

## ● 安慶田先生とのリモート交流について

この春より、ベトナム・ハノイにありますが日本人学校にて勤務されている、中学部の安慶田先生と、中学部の生徒がオンライン会議システムを通して、久しぶりに交流を行いました。

本校生徒からは、寝屋川支援の近況や中学部の様子について報告を行い、安慶田先生からは、ベトナムのことや日本人学校での授業の様子などの話がありました。

生徒はベトナムの話に興味津々で聞き入り、安慶田先生も寝屋川支援の近況報告に懐かしそうな表情を浮かべておられました。お互い久しぶりの再会は、あっ！という間に時間が過ぎていきました。

